



TOHOKU
UNIVERSITY



ORICONSUL



FUTABA.

Press Release

2026年3月19日

報道機関 各位

国立大学法人東北大学
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
株式会社ふたば

【3/26（木）取材のご案内】

共同研究「夜ノ森プロジェクト」に関する キックオフミーティングについて

東北大学は、2024年2月に福島県富岡町と締結した包括連携協定等に基づき、本学が進める FUKUSHIMA サイエンスパーク構想の一環として、株式会社オリエンタルコンサルタンツ（代表取締役社長：野崎秀則）及び株式会社ふたば（代表取締役：遠藤秀文）と協働して、福島県富岡町夜の森地区において、DXによる復興まちづくりを推進する共同研究を開始しました。

つきましては、本件に関し、下記のとおりキックオフミーティングを開催することとしましたので、報道機関の皆様におかれましては、ぜひご取材の上、紙面・番組等で取り上げていただきますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時：

2026年3月26日（木） 13時30分から14時15分頃まで

2. 場 所：富岡町文化交流センター学びの森

（福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚 622-1）

3. 出席者： 東北大学 副学長 今村文彦 他
（株）オリエンタルコンサルタンツ 東北支社長 森本尚弘 他
（株）ふたば 社長 遠藤秀文 他

なお、富岡町の宮川大志副町長にもご同席を頂きます。

4. 当日のスケジュール

- 13:30～ 共同研究の趣旨説明 東北大学 今村副学長
13:35～ 共同研究における取組① (株)オリエンタルコンサルタンツ
森本支社長
13:40～ 共同研究における取組② (株)ふたば 遠藤社長
13:45～ 副町長あいさつ 富岡町 宮川副町長
14:00～ 写真撮影
14:05～14:15 プレスからの質疑と応答
(その後、夜の森地区フィールド視察)

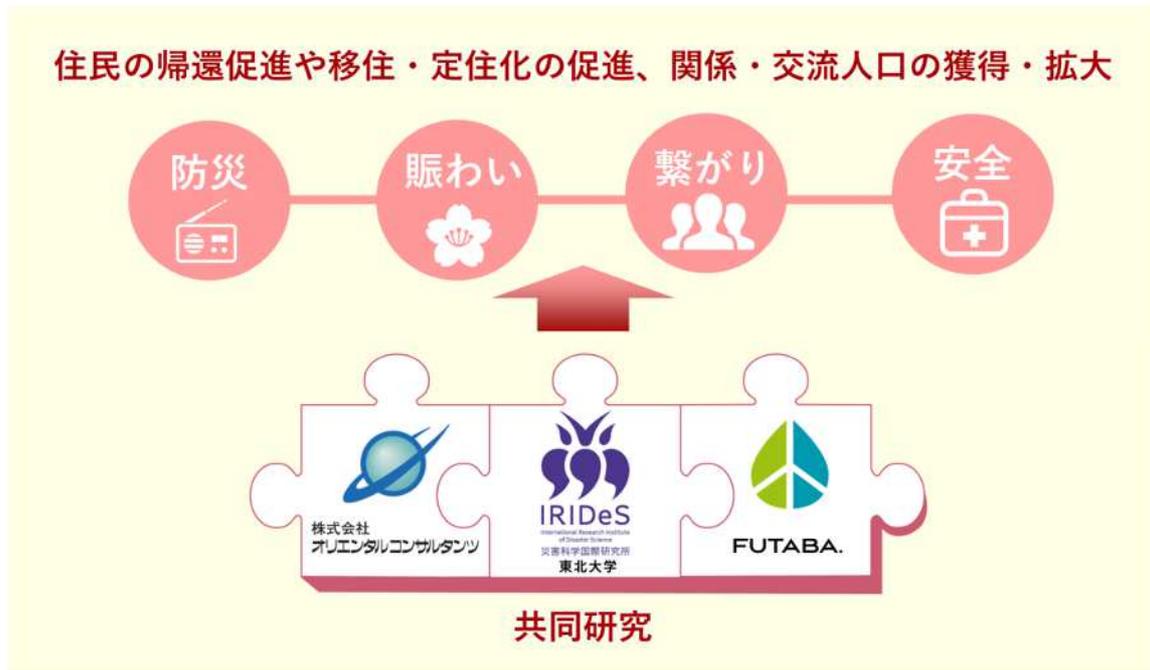
5. 取材受付：取材をご希望の場合は、3月25日（水）午前11時までに、末尾の申込窓口までご連絡ください。

【概要】

福島県富岡町夜の森地区は、東日本大震災後に帰還困難区域に指定され、現在は避難指示解除となっていますが、住民の帰還や移住は進んでいない現状があります。本共同研究は、夜の森地区を中心として住民の帰還促進や移住・定住化の促進、関係・交流人口の獲得・拡大による地域活性化を目的として、産学連携によりDX技術等を活用しながら復興まちづくりの推進を行うものです。共同研究の期間は2029年1月までの3年間とし、具体的な研究内容・プロジェクトの取り組みは、今回のキックオフミーティングを始めとして、今後検討していく予定です。

また、本共同研究の初動的な取り組みとして、2026年4月に開催予定の「夜の森桜まつり」において、DX技術を活用し、賑わいの効果計測および来街者等の人流解析を実施する予定です。この取り組みでは、来街者の挙動や滞在時間等を基に「賑わい」を定量的に分析するとともに、交通ビッグデータを活用して来街時間や出発地・立ち寄り施設等の人流の解析を行います。これら分析・解析結果を基に、桜が”町の象徴”である富岡町において、交流人口の実態把握と公共空間の魅力向上の効果検証を行い、今後の帰還促進・移住定住施策および地域活性化施策に繋げてまいります。

【共同研究のイメージ】



【問い合わせ先】

(取材申込に関すること)

東北大学災害科学国際研究所

教授 今村 文彦

特任教授 御手洗 潤

電話：022-752-2029

Email: jun.mitarai.b8@tohoku.ac.jp

(報道に関すること)

東北大学災害科学国際研究所広報室

電話: 022-752-2049

Email: irides-pr@grp.tohoku.ac.jp

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

電話: 03-6311-7551

統括本部 伊藤、日原、丸山、門司

URL: <https://www.oriconsul.com/>

株式会社ふたば

電話: 024-954-3832

Email: s-kishimoto@futasoku.co.jp

広報担当 岸本